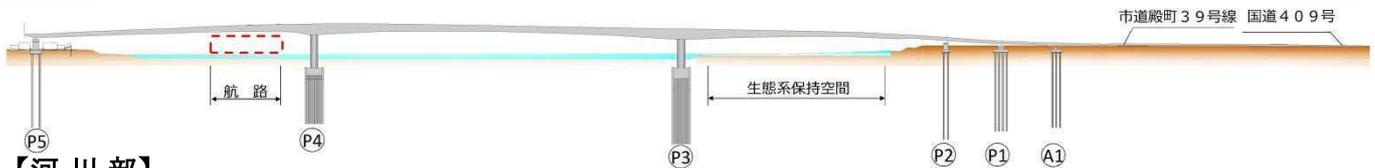


## 橋脚の築造を開始

## 多摩川にコンクリートプラント船現る

羽田空港側

殿町側

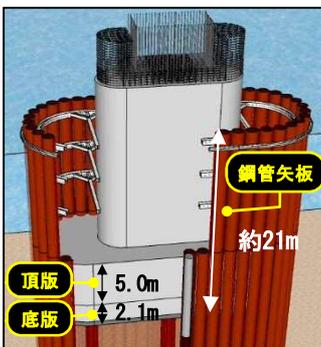


### 【河川部】

P4橋脚の鋼管矢板井筒基礎内部の深さ約21mまでの土砂掘削が完了し、橋脚の躯体構築に向け、多摩川からコンクリートプラント船にて、鋼管矢板基礎と橋脚を一体化させる底版・頂版コンクリートの打設を行っております。

今年から、橋脚柱部の構築に着手し、今春には橋脚の姿をお見せできる予定です。

なお、当現場で活躍するコンクリートプラント船は、「第七長崎号」で西宮港（兵庫県）から曳航（自走不可）されて多摩川に来ています。



橋脚イメージ図



底盤コンクリート打設完了



頂版コンクリート打設状況



コンクリートプラント船による打設状況

### 【陸上部】

国道409号とつながる擁壁構造物は約8割の構築が完了しました。また、取付部のA1橋台、P1およびP2橋脚の下部工構造物の構築が完了しました。今後は重力式擁壁や接続部の国道409号に新たな交差点を設置するための改良工事を行う予定です。



擁壁部（殿町側から羽田側を望む）



取付部全景（多摩川側から国道409号側を望む）

### 【土木豆知識④】コンクリートプラント船

多摩川の橋脚のコンクリートはコンクリートプラント船といわれる作業船で打設しています。通常のマンションなど陸上で使用されるコンクリートは工場で製作したコンクリートをアジテータ車に積んで運搬し、ポンプ車と呼ばれる作業機械で打設します。しかし、多摩川の中では運搬する通路がありませんので、コンクリートの材料である砂、砂利、セメント、水を作業船に積み込み、船上でコンクリートを製造して打設する方法を採用しています。

通常、港の防波堤のコンクリート打設などに用いられることが多く、多摩川ではめったに見かけない船ですので、一度護岸からご覧になってはいかがでしょうか？



コンクリート工場



アジテータ車



ポンプ車



コンクリートプラント船

## 鋼桁の工場製作もフル稼働

## 今春から千葉県富津市で大組を開始します

本橋の橋桁は合計約10,000トンとなりますが、その工場製作が大府堺工場、広島県向島工場で最盛期を迎えています。

各工場で作られた鋼桁は千葉県富津市まで船舶で運搬し、海に隣接した地組ヤードにて橋梁の形に大組します。

富津市での大組を今春頃から予定しています。

大組した鋼桁は台船に積み込んで殿町まで運搬し、そのままの状態に架設します。



海上運搬ルート



①鋼板切断



②穴あけ（鋼板加工）



③鋼板溶接



④鋼桁組立



⑤桁内溶接

## 年始のご挨拶

## 本年もよろしくお願いいたします

【発注者：川崎市建設緑政局広域道路整備室羽田連絡道路建設担当 小沼 匡弘】

新年、あけましておめでとうございます。

一昨年の10月から着工し、近隣の皆様には、市道の通行止めや鋼管矢板の打撃音などで、ご迷惑をおかけ致しました。工事は、昨夏における度重なる台風の襲来等で影響を受ける部分もございましたが、現場では主に橋脚工事、工場では橋桁の製作を着実に進めており、今秋には、橋桁の架設を予定しております。また、昨年に引き続き「羽連だより」の寄稿や工事広報館のご案内など、地域の皆様にご理解をいただけるよう努めてまいります。

本年も私をはじめ市職員5名一同力を合わせて、羽田連絡道路の整備に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。



市職員一同

【受注者：五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体 現場代理人 陶山 健太】

工事の現場代理人を務めます陶山（すやま）です。日頃より（仮称）殿町羽田連絡道路の建設工事にあたり、色々なご協力ありがとうございます。現在、現場では約25人のJV職員、約70人の作業員で橋脚基礎工および道路取付工に全力で取り組んでいる状況です。一昨年の10月より本格着工し、この1月に2回目の正月を迎えることになりました。今年は、いよいよ上部工の架設工に取り組んで参ります。拘りの【品質】と【安全】の最優先をモットーに現場を指揮して参ります。本年もどうぞ、宜しくお願い致します。



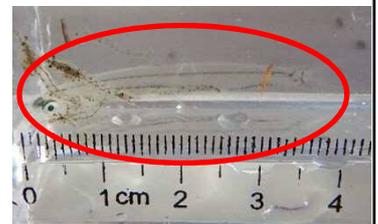
五洋JV 陶山

## 【多摩川河口干潟の生き物④(アユ)】

冬季調査は水も風も冷たく非常に過酷な状況ですが、干潟ではアユを中心とした稚稚魚が出現し始め、一足早く春の訪れを感じられる調査となります。この時期に出現するアユは、清流を力強く泳ぐ姿からは程遠い体長3~4cmの白く弱々しいシラスアユ（稚魚）です。平成30年3月の東京湾内の調査によると、例年の2~3倍のシラスアユが採集されています\*。前回の工事区域周辺の調査でも沢山のシラスアユが確認されました。

アユは寿命が1年のため「年魚」とも呼ばれて縁起が良いとされ、平安時代のお正月の祝膳には「歯固めの儀式（長寿を願う）」として「押鮎」が並んでいたそうです。次回調査では、前回確認された稚魚たちの子供たちに出会えるかもしれません。

\*東京都島しょ農林水産センターHP <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp/26,21653,52,523.html>



## お問合せ先



川崎市建設緑政局広域道路整備室  
羽田連絡道路建設担当

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・  
本間・高田共同企業体（五洋JV）

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>